

おんしつ 温室メロン 効能表示へ始動 しどう

県生産者組合

温室メロンの生産者でつくる「**温室農業協同組合（袋井市）**」が、「**機能性表示食品制度**」に基づく**効能表示**に向け動き出した。鍵となる成分は、**ストレス軽減**などの作用がある**γ-GABA（ギャバ）**。含有量を調べている**県立農林大学校（磐田市）**の研究を支援し、販売拡大に向けた可能性を探っている。

同制度は昨年4月にスタートし、科学的根拠を基に体への効果を表すことができるのが特徴。同組合は以前からメロンに多いと言われていた**GABA**に着目し、同校の研究を通じて確かなデータの把握に着手した。

いわたのうりんだいがっこう けんきゅう
磐田・農林大学校で研究

「ストレス軽減」成分注目

A含有量を計測。平均で1ミリグラム当たり**109.4**マイクロを検出した。一般的に多いとされる**トマト**の約3倍の量に相当し、過去に測定された露地物メロンの値も上回った。

担当した同校2年の藤井杏丞（きょうすけ）さん（21）は「富土市出身」は「1本の木に実は1個だけで、管理も徹底している温室栽培だからこそ」と要因を推察する。実の部位別では、種がある中心部が最も多く、果皮に近いほど



温室メロンのGABAを研究する藤井杏丞さん（4月下旬、磐田市の県立農林大学校）

①「機能性表示制度」とは、どのようなものでしょうか。

[]

②「GABA」には、どんな作用がありますか。

[]

③温室メロンの実は1本の木にいくつできますか。

[]

年 組 名前